



がどうだより

吟道賀堂流総本部 会報
第8号 令和6年10月1日
発行 吟道賀堂流総本部
会長 磯部賀堂

創流 90 周年記念大会 いよいよ迫る！！

「豪壮・幽麗 ひびけ未来へ」

吟道賀堂流創流 90 周年を祝う「創流 90 周年記念大会」が、間近に迫ってまいりました！。

これまで支えてくださった会員皆様と共に、90 年の歴史に思いを馳せながら、未来を展望するこの特別な一日を、ぜひ一緒にお祝いしましょう！！。

体調にご留意され、会場の「アクリエひめじ」でお会いしましょう。

・大会の概要

開催日：令和 6 年 12 月 1 日(日)

時 間：9:30～17:00(開場 9:00)

場 所：アクリエひめじ(姫路市神屋町 143-2)

お願い：会員の方は、受付を通さず、直接会場(アクリエひめじ中ホール)にお入りください。

但し、大会役員、大合吟の各組代表者、構成番組出場者は、受付を通してください。

大合吟の各組代表者は、受付で出吟番号を記載した「うちわ」を受取って下さい。

・プログラム

記念大会(2階中ホール)

- ・式典(来賓祝辞、表彰など)
- ・合吟(各本部から 10 組の大合吟)
- ・企画構成番組(90 年の歴史を紐解く)

記念祝賀会(1階展示場)

- ・開会セレモニー(太鼓演奏、祝舞い、鏡開き)
- ・懇親会(カラオケや寸劇等で一緒に楽しみましょう)
- ※アルコールが出ますので、車での来場は控えてください。



イメージ図

400 名が集う祝賀会 会場

吟道賀堂流の歴史(8)

12月1日の創流90周年記念大会に吟道賀城流総本部横山寿城名誉会長(大阪府吟剣詩舞道総連盟会長)と磯部流吟道清明会総本部巽吟城会長(少壮吟士)を来賓として迎えていますが、改めて賀城流・磯部流との関係を紹介しておきます。



巽 吟城先生

流祖磯部賀堂は吟詠の普及に東奔西走したが、中でも大阪には約60回講習に行っています。雅号賀城を授与された福島賀城師は昭和12年に皇国錦城詩吟会を創設、磯部賀堂急逝には大阪で追悼全国詩吟大会を開催。

戦後、旧門下生に擁されて吟道天真会を創始、昭和30年に天真会を解散し、吟道賀城流を創流。大阪を中心に広島・香川で活動し今日に至る。

天真会解散後、岡崎泰城は二代目磯部賀堂の許可を得て昭和34年に磯部流天真会を創始、その後に磯部流吟道清明会と改称し、大阪池田市を中心に活動し今日に至る。

福島賀城師、岡崎泰城師は賀堂流碑建立には委員会参与として協力、その後も両会派とは記念大会等で交流を続けています。(磯部賀堂)



横山寿城先生

第 32 回吟士権者決定大会開(姫路市花の北市民広場 大ホール)

第 32 回吟士権者決定大会は、令和 6 年 9 月 8 日(日)、姫路市花の北市民広場 大ホールにて開催された。会場の花の北市民広場での開催は、平成 23 年(第 21 回)まで行われてきたが、駐車場の関係もあり、翌年から姫路市文化センター(小ホール)に会場を移した。

以来 13 年ぶりの開催となった。

前年度優勝者吟詠に引き続き、競吟第一部、第二部、第四部、少年・高齢者の招待吟詠をはさんで、第三部、第五部それと第三部上位 5 人による決勝吟詠が行われ、各部の優勝者は以下の通りでした。(敬称略)

第一部：長谷川直樹(近)、第二部：山本恵美子(近)、第三部：三浦賀宝千(近)、第四部：藤原照代、入江厚子、中西芳子、柏井福子、足立慶子(近)、第五部：辛嶋 勝(京)の皆さんでした。

おめでとうございます。

(事業部)



近畿本部 姫路城観月会

去る9月17日、第42回姫路城観月会が三の丸広場で華やかに開催された。初めに、特設ステージいっぱいの子の美しい音色がムードを盛り上げ、次にオープニングセレモニー、その後、姫路吟剣詩舞道連盟の演目として賀堂流近畿本部男子選抜チーム15名(リーダー津田賀萌勝)が、「立山を望む」を披露、その後「壇の浦を過ぐ」の扇舞地吟を女子3名(森野賀穂涼・原田賀鈴喜・村山賀聖蓉)で吟じた。



男子チームは、揃いのネクタイ、白カッター、黒ズボンと一列に並んだ凛々しい姿が印象的でライトアップで浮かび上がった姫路城を背に朗々と吟じ、観客を魅了した。

津軽三味線、「姫路ふるさと大使」の演歌歌手城山みつきさんの歌と続き、迫力のある笛・和太鼓演奏がトリを務め幕を閉じた。中秋の名月、輝く月はとても美しかった。

(村山賀聖蓉)



中国本部 伊藤賀久裕先生を偲んで

前中国本部会長伊藤賀久裕先生が4月22日にご逝去されました。伊藤賀久裕先生とは常任理事会等で、お会いしておりましたがとてもご誠実で、お優しい方でした。

中国本部のために、大変ご尽力を頂いておりましたが、体調を崩されて心配しておりました。このようなことになりまして、残念でなりません。

これからは伊藤賀久裕先生の後を引き継いで、中国本部会員一同、尽力してまいりたいと思っております。熱心にご指導頂きました先生のご厚情に心より感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈り致します。

(中国本部会長 大歳賀妝暎)



京都本部 長岡京吟詠会

「詩吟無料体験教室」を開催しています。

会員拡大の目的で、長岡京吟詠会では、毎年、長岡京市で「詩吟無料体験教室」を開講しています。これまで4年間、「新型コロナ」のため開講を見合わせていましたが、今年から復活しました。

長岡京市の公共の施設に募集のチラシを置かしてもらい、募集したところ、男性1名、女性3名が応募してくれました。9月7日からスタートし、現在勉強中です。

一講座、月2回、3か月のコースで全6回を体験してもらいます。

講座の内容は、毎回、会員の模範吟詠からはじまり、横山賀秀邦先生を講師にお願いして、「詩吟発声の基本」・「漢詩の理解」・「賀堂流の譜節」・「吟詠実習指導」などを順番に学んでいただきます。

受講者には、『詩吟体験教室教本』(会で作成)をお渡しし、家でも勉強できるようにしています。

勉強する課題詩は、地元長岡京市にもゆかりのある菅原道真作の『九月十日』を選んでいるので、参加いただいた皆さんも興味を持って学んでいただいています。

(本庄賀秀峰)



吟と健康(8) *** 喉のダメージ回復 ***

今年、連日の猛暑 長引く暑さ なかなか回復しない喉がれ、違和感、長引く咳など...ありませんか？
大好きな吟の練習もままならないですよ～ それは、ウイルスや細菌の侵入を排除する働き「喉の線毛」が暑さによりダメージを受け機能低下を起こしている可能性が！

ダメージを受けた線毛を回復させるには、いたってシンプル。「水をこまめに飲むこと！」特に睡眠中は、水分の蒸発が多く、線毛を動かす水分が減り、機能が低下するため、寝る前に水分を補給することで、線毛の機能回復が期待できること。ポイントは、...夜、寝る前の一杯(水です)は特に忘れずに!! (林 修の今知りたいでしょ より)

皆様の素晴らしい吟声を創流90周年記念大会で、お聴かせ下さい。



(村山賀聖蓉)



賀堂流ホームページ: <https://gadou.info>
- スマホで賀堂流ホームページへ

担当 吉永賀鈴、片岡賀弘蒼、村山賀聖蓉
連絡先 吉永賀鈴 TEL:079-298-5107
E-mail: garei_yoshi@yahoo.co.jp